

# 大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・FAX 284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

## 公立小学校における学級編成の標準の引き下げについて

新型コロナウイルスの流行にともない、予防策として 3 密回避等が求められる中、コロナ感染予防のためには「少人数学級編成に」「先生や教室を増やす必要がある」など、全国の自治体から「少人数学級への見直し」を求める声が国に届けられました。



※学級編成の標準見直しに向けた国の動きがみられましたので、県義務教育課の説明から一部になりますがご報告いたします。

### 【国の動向】

2011 年度 (H23) 一・小・中学校の 40 人であった学級編成の標準を、30 年ぶりに見直し、小 1 のみ 35 人編成とした。

2012 年度 (H24) 一・小学校 2 年の 35 人以下学級の実施。

(小1と異なり学級編成の標準の見直しはせず、加配措置により実施)

2020 年度 (R2)

○2021 年度 (R3) の概算要求において、学級編成の標準の引き下げを含めた少人数による指導体制に計画的な整備について事項要求。

○小学校 2～6 年生の 40 人としている学級編成の標準を、2020 年度 (R3) から段階的 (5 年かけて) に 35 人に引き下げる方針。学級の上限人数を定める義務標準法の改正案を、2021 年 (R3) の通常国会に提出予定。

### 【これらを前提とした茨城県の少人数学級編成の推移】

- ・小学校 3～6 年生 : 35 人超が 3 学級以上の場合・・・学級を増やす
- ・小学校 3～6 年生 : 35 人超が 1・2 学級の場合・・・非常勤講師加配  
(中学校で学級増する場合、教員および非常勤講師を各 1 名配置)

見直しは、単純に一斉に 35 人とか 30 人などに引き下げをしないため、とても分かりづらいです。

(3) 現行との差 (単位:人)

	教員数	
	教員数 (学級担任)	非常勤講師
現行(A)	62	320
35人学級(B)	278	0
差(B-A)	216	▲ 320

左の表は、35 人以下学級が完全実施 (小 3～小 6) された場合に必要な教員は 278 人であり、現行 62 人との差が 216 人であること。非常勤講師は現行 320 人だが完全実施では 0 になる。320 名で 7 億 9200 万円の人件費でしたがこれがなくなると、新たな活用が可能となる。

※コロナ禍のもとでは、よりきめ細かい教育体制が重要です。未来に希望が持てる育ちを保障していくために、早期に手厚い体制を整えていただきたいです。

### 〈質疑から〉

- ・児童・生徒数の決定はこれまで通り 5 月 1 日。
- ・2021 年度は、実質的変更はなく 2022 年度から変更が伴ってくる。
- ・教員の確保については、大量退職者の時期を迎えているので、常勤講師を含めた長期的な採用計画を立てている。
- ・教室不足は全体的にはそんなに多くはないとみている。市町村によっては対応が必要になってくると思われるので、2022 年度に向けてシミュレーション等行いながら考えていく。
- ・35 人でも密でありさらに減人数するかどうかについては、2022 年度に向けて、来年度中に検討していく。
- ・その他